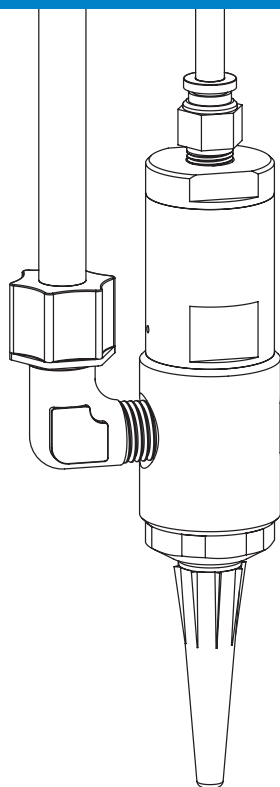


725HF ハイフローピストンバルブ

メンテナンス・パーツガイド



重要!
このガイドは大切に保管してください。

このガイドは、メンテナンス
管理者にお渡しください。

ノードソンEFDの取扱説明書のpdf
ファイルは、www.nordsonefd.com/jp
からダウンロードできます



バルブの分解

⚠ 注意

損傷を防ぐために、バルブは液剤吐出口側から分解してください。

1. 取付穴に取り付けロッドをねじ込む。
2. 接液ボディーキャップを取り外す。
3. シーリングヘッドを取り外す。*
4. シリンダーボディーのレンチフラットをレンチで挟み、回転させて接液ボディーを緩める。
5. 接液ボディーを取り外す。*
6. エア入力チューブをエアシリンダーキャップのプッシュイン継手から取り外す。
7. キャップのエア入力穴に1/8"六角レンチを差し込み、シャフト固定ネジを2回転させる。*
8. シャフトに六角レンチを差し込み、ネジを緩ませ、シャフトとダイヤフラムを取り除く。*
9. シリンダーキャップをシリンダーボディーからネジを緩ませて取り外す。*
10. ピストンとバネを取り除く。

注意: バルブを再組立する前に、全てのパーツを洗浄し、Oリング、シーリングヘッド、ダイヤフラムを交換して下さい。ネジが損傷していないか、ピストンピンが歪んでいないか、接液ボディーシートに穴がないか確認します。

使用する工具:

1/8" 六角レンチ
1/4" マイナスドライバー
3/8" メガネレンチ
7/8" スパナ
8" モンキーレンチ
1/4"NPT オスパイプ、
あるいはロッド

バルブの組み立て

⚠ 注意

液剤供給口継手をバルブにねじ込み過ぎないように注意してください。ピストンシャフトの損傷につながり、液剤の漏れ、ディスプレイ性能の低下もしくはバルブ破損の原因となる場合があります。

分解した順番の反対に再度組み立てます。下記に示されたパーツをメンテナンスキットに入っている、ナイ潤滑油#865で潤滑します。

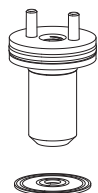
*左ページの手順で、が付いている手順に関しては、上記表に示されるトルクで組み立ててください:

手順番号	パーツ	N·m	in·lb / ft·lb
3	シーリングヘッドネジ	1.69 N·m	15 in·lb
5	ステンレス製接液ボディー	10.8-13.6 N·m	8-10 ft·lb
7	シャフト固定ネジ	2.82 N·m	25 in·lb
8	シャフト	1.69 N·m	15 in·lb
9	シリンダーキャップ	10.8 N·m	8 ft·lb

交換部品

**基本メンテナンス キットに同梱
(#7021019)

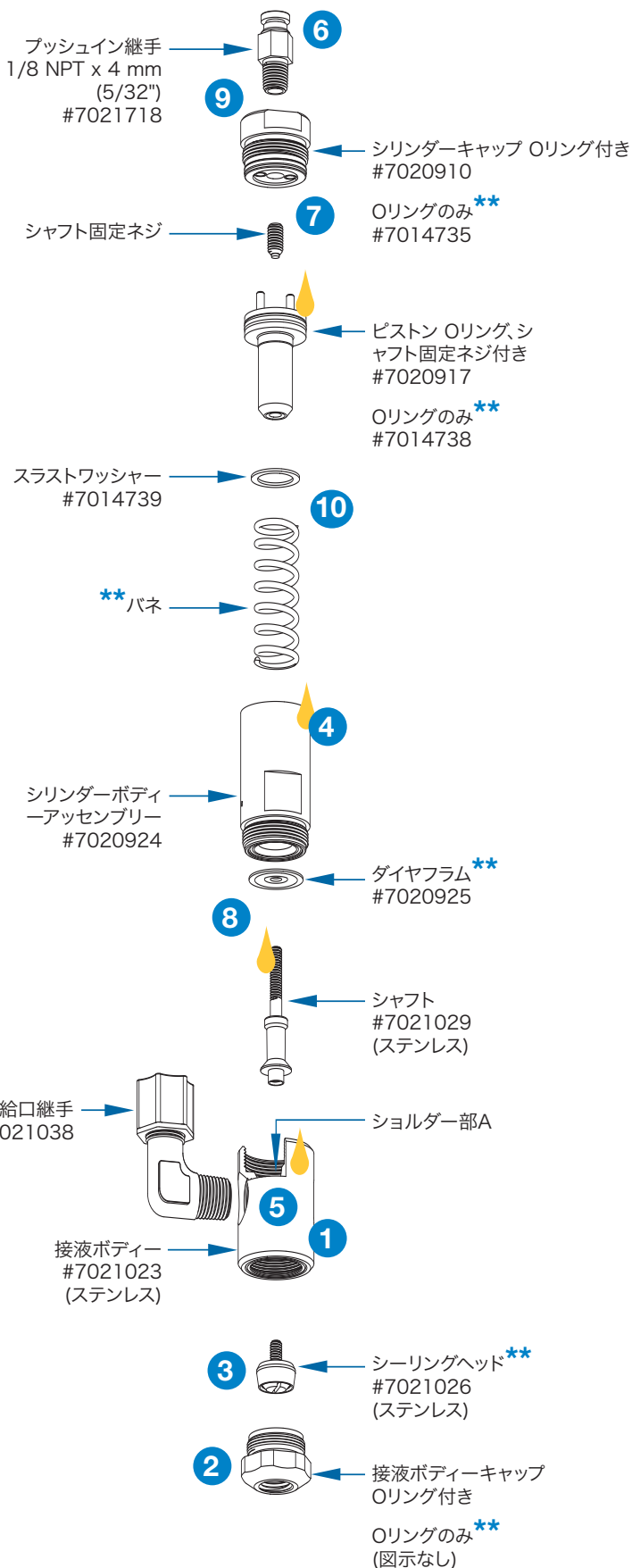
部品番号	説明
7021020	725HF-SSバルブ
7021019	メンテナンスキット キット内容： シリンダーボディ および接液ボディキャップ用Oリ ング、ダイヤフラム、ネジ付きシー リングヘッド、スプリング、潤滑油



725HF-SS ピストン、ダイヤフラム、
シャフトのアセンブリー



ナイ ジェル潤滑油 **
1g



トラブルシューティング

液剤が吐出されない

- ・バルブ駆動エアの圧力が低すぎる場合、バルブは開きません。エア圧を最低でも 0.48 MPa/4.8 bar (70 psi) まで上げてください。
- ・タンクのエア圧が充分でない。エア圧を上げてください。
- ・ノズルが詰まっている。ノズルを交換してください。
- ・接液ポディー内で液剤が固化している。接液ポディーを洗浄してください。

バルブが閉じたあと、液漏れが見られ、徐々に止まる

- ・この現象は、接液ポディーの吐出部にエアが溜まっている、あるいは液剤にエアが混入している場合に見られます。エアはバルブが閉じたあとに膨張し、エアが大気圧に達するまで液剤を押し出します。
- ・エアが見られなくなるまで液剤を定量で吐出し、パージを行ってください。ゲージの小さいノズルを使用している場合、ノズルアダプターからエアが抜けるのに十分な液剤が吐出しない場合があります。そのときは、ノズルを取り外してください。
- ・液剤にエアが混入しているときは、吐出を行なう前に脱泡してください。

注意: ストライプや線引きのアプリケーション、バルブ開放時の急激な液剤の流れを防ぐため、低めの入力エア圧設定を推奨します。

バルブが閉じたあと、液漏れが一定の間隔で見られる

- ・一定間隔で液漏れする場合は、液剤の粒子の堆積、あるいは、シーリングヘッドの摩耗のため、シーリングヘッドが完全に閉じないことが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、シーリングヘッドを交換してください。
- ・液剤供給口継手をバルブにねじ込みすぎるとピストンシャフトが損傷し、液剤漏れの原因となる場合があります。液剤供給口継手は、必ず正しく設置するようご確認ください。

バルブ開閉のレスポンスが遅い

- ・バルブのレスポンスは駆動エアチューブの長さや径に関係しています。ノードソンEFDのバルブには、内径4mmの1.5mのチューブが同梱されていますが、これより長い、あるいは太いチューブをご使用になると、レスポンスタイムに影響がでます。違う長さ、内径のチューブを使用していないか確認してください。

駆動エア入力口下の通気孔から液剤が漏れる

- ・駆動エア入力口のすぐ下に、放熱用の通気孔がありますが、ここから液剤が出るのは、ダイヤフラムが破損していることが考えられます。メンテナンスガイドに従って交換して下さい。

吐出が不安定

- ・バルブ駆動や液剤タンクへの供給エア圧が一定ではない、あるいはバルブ駆動エア圧が0.48 MPa/4.8 bar (70 psi)未満の場合、液剤吐出が不安定になる場合があります。エア圧が安定しており、駆動エア圧が0.48 MPa/4.8 bar (70 psi)に達しているかご確認ください。
- ・バルブの開放時間は一定である必要があります。バルブコントローラーが正しい出力を行なっているかご確認ください。



EFD

ノードソン EFDは、世界40ヶ国に販売・サービス拠点を持っています。詳細は www.nordsonefd.com/jp をご覧ください

日本

+81-3-5762-2760; japan@nordsonefd.com

グローバル

+1-401-431-7000; info@nordsonefd.com

©2025 Nordson Corporation 7026828 v110425